

な かつ は ら

第47号

発行
 斉藤 眞幾男
 仲手原自治会

平成28年度 仲手原自治会防災訓練
10.15

今年度の防災訓練は、会員と武相学園の生徒ら約140名が参加して開催されました。訓練に先立ち斉藤会長より先の地震調査委員会の発表によると、今後30年以内に震度6弱以上の地震に襲われる確率は、神奈川県は千葉県の85%に次ぎ81%とのこと
 です。まさに、災害がいつ我が身に降りかかるかわからない状況との認識をもって訓練をしていただきたい。と参加者に呼び掛けて、訓練を開始しました。



斉藤会長挨拶

訓練は消防署と消防団の指導のもと、実際に災害が起きた時を想定した体験や、初期消火活動の実施訓練を中心に計画し、参加者全員が貴重な体験を通じて、被災時の行動に活かせることを目標に、次の四種類の訓練を行いました。

- ① 起震車による地震体験
- ② 水消火器による消火訓練
- ③ 煙道通過体験
- ④ スタンドパイプ初期消火器具の放水訓練



起震車体験 揺れる!



煙道通過体験



水消火器訓練

終了後、斉藤会長から本日は災害に備えたハード面の訓練を行ったが、引続きソフト面の対応として「災害基本台帳整備」「要援護者支援活動」を進めますので、会員の支援と協力をお願いして、防災訓練を終了しました。

安全で安心な、

楽しく住みよび町づくりの推進

会長 斉藤 眞幾男

日々、自治会活動へのご支援とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

早いもので平成28年度も残すところ4ヶ月となりました。自治会活動は、年度当初の総会で三つのテーマを掲げ活動を進めています。その取組み状況の中間報告をさせていただきます。

● 親睦を深めるイベントの開催

恒例の「ふれあいまつり」「夏まつり」「3R^{スリム}夢施設見学会」「防災訓練」と様々なイベントを多くの会員の皆さまに支えられながら盛況かつ無事に開催することができました。引き続き「クリスマスコンサート」「街かど医学塾」「バス旅行」などを計画してまいりますので、積極的に参加していただき、日頃から近所との交流を深めて頂きますよう、お願いいたします。

● 安否確認ができる地域の関係づくり

万一の災害・緊急時に備えて自治会の「災害基本台帳」整備を班長・組長のお力を借りながら、厳正管理した非公開の必要最小限のデータ作りに着手いたします。

ご存知の通り、被災時には、先ず自ら安全確保に努める「**自助**」が基本ですが、当然のことながら「**自助**」には限界があります。

「向こう三軒両隣（自治会の組単位）」をベースとした地域ぐるみの人たちが協力した「**互助**」が必要不可欠と考えています。そこで、皆さまのご理解とご協力を得ながら、平成26年度に会員の皆様にお配りした会員名簿を補完して非公開の「災害基本台帳」を今年度中に完成し、自治会が管理したいと考えております。

具体的な作成手順については、定例会で各班長へご説明させていただくのと合わせ、本紙折り込み号外でご案内させていただきます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

● 震災に備えた要援護者支援

被災時に自力で避難できない方を対象として、日常の声かけ、見守りなど「**共助**」の活動を通じ、災害時の安否確認や避難支援などができる関係づくり、万一の際に備えた体制を構築するため、民生委員と役員で検討を進めており、要援護者宅への訪問と対話を進めてまいります。

※ 号外を折り込みしてありますので、必ずご一読ください。

夏まつり

8月20・21日、恒例の夏まつりが開催されました。篠原八幡神社の例大祭にあわせて篠原地区7自治会が同時開催している祭りです。



20日は、早朝8時に篠原八幡神社の宮司による神酒所開き修祓が行われ、祭りが始まりました。一日目の山車巡行は、仲手原一丁目です。天候が怪しかったにもかかわらず、たくさんの子供たちが集まってくれました。しかし、

引き返すわけにもいかず予定のコースを進んだところ、一丁目10班に到着する頃には雨が止み、ずぶ濡れにはなりましたが、無事に自治会館へ戻ることができました。午後も引き続き曇り模様でしたが、夕方の盆踊り・模擬店にはた

くさんの方々において頂きました。二日目は夏の青空が広がり好天となり二丁目の山車巡行が行われました。コース後半で仲手原南自治会の神輿が合流して賑やかに戻ってきました。夕方の盆踊り・模擬店は、初日以上に盛り上がり、恒例になっているビンゴ大会は50名以上の方々に参加して異様な興奮に包まれました。



夏祭りの今・昔

昔 1994年 大人の神輿



今 2016年 子供の山車



篠原八幡神社の由来

篠原八幡神社の元となった神社は、一一九二年(鎌倉時代・建久三年)に、鎌倉の鶴岡八幡宮(おほひら)にお願いして当時の鈴木村会下谷(えげやと)に建立され、鶴崎八幡と呼ばれました。会下谷は、現在の八幡神社の南側の谷の古い地名で、神社の位置は篠原コーポラス付近と推定されます。



拜殿と参道の雌雄の「吉六狛犬」

鈴木村は、鎌倉時代後期に「篠原村」と改名されました。当時の地域住民の祖先は平家で、加賀の篠原(現在の石川県加賀市篠原)に陣を構えたのち、源氏に襲撃されて破れ、落ちのびて来たためと伝わっています。

その後、一六三二年(寛永八年)に鶴崎八幡を分体して表谷(おおもやと)の場所)に社を建て、これを「若宮八幡宮」と呼びました。

一六六七年(寛文七年)、伊奈半十郎、新井孫兵衛らによってこの社が再建され、さらに一八三九年(天保十年)に改築されたのが現在の拜殿です。このとき、会下谷にあった元宮を合祠して「篠原八幡大神」通称「篠原八幡神社」と呼ぶようになったものです。

社殿は「八幡流れ造り」という形式で、内殿の一部には、鶴崎八幡から移設したと思われる鎌倉時代の彫刻が残っています。

拜殿は、伊勢神宮と同じく、冬至の日の太陽が昇る方角に向けて建てられています。鳥居と参道を



通過した光が、御神体に差し込む様は誠に神々しいことです。

参道の狛犬は、鶴見の石工、飯嶋吉六によって一八三九年に製作されたもので、たてがみと尾の流れに特徴があります。また、子供を抱いている狛犬は珍しく、安産祈願やお宮参り、七五三参りなどをなさる方が多いです。

白幡小学校80周年に寄せて

80周年実行委員会 井上 禮子

今年で横浜市立白幡小学校は、創立80周年を迎えました。

単に80周年だということではなく、80年とい

う年の長さについていろいろな事

があり、今・昔と思いをは

せながら、未

来に向かつて

の時の長さを

子供に知って

もらう会にし

ていこうとしています。

親・子・孫と三代にわたって白

幡小学校を卒業した家族もいらっ

しゃいます。「子供が未来に夢を

育む学校「コミュニティ白幡小学

校へ」をテーマの下、次の五つの

一・夢の熱議部〈記念式典〉

児童を中心とした式典・発表会

並びに大人中心の式典の二部に

分けた式典を進めます。

二・夢の紡ぎ部〈学校行事〉

創立記念式は6月25日、運動会

は9月17日、11月12日の80周年

式典を計画しました。



エンブレムのライトアップ

三・夢の志部〈渉外〉

人文字による「航空写真」の撮

影と「80周年エンブレム」を作

成します。今後の全校行事、学

校行事に活用されるでしょう。



人文字の俯瞰と整列する児童たち

四・夢の想望部〈記念事業〉

夢の掲示板・写真展・講演会等

です。

五・結び部〈広報〉

ガイドブック(三〇〇〇部)を

P.T.A.の広報委員が中心になり

作成しています。

これらの五つの柱が中心となっ

て学校・P.T.A.・地域が一体とな

り子供達と共に80周年の行事が行

われました。いろいろな方々が一

丸となって「80周年」に向けて協

力をし、頑張ってきました。ここ

に皆様方の応援を頂き、無事に盛

大に終わらすことが出来ました。

ありがとうございます。

たけのこ子供会
斉藤農園へ
とれたて野菜を
ゲットしよう!

6月18日(土) 梅雨時期の真夏

のように晴れ渡る暑い

日、たけのこ子供会一

行(総勢63人内小学生

33人、未就学児4人、

他保護者)は、菊名3

丁目の斉藤農園に、午

前10時に集合しまし

た。住宅地の中の立派

な畑には、青々と元氣

に育った野菜が何連に

も並び、そのふかふか

の土から枝豆・玉ねぎ・

大量のねぎをみんなで掘り起し

ました。ある男の子は、「太いね

ぎを選んで掘

った」と満足

そうにお話し

てくれました

た。またある

お父さんは、

「本当は、こ

うのは、い

いですね、枝



豆とビールもいいですね」と嬉し

そうに答えてくださいました。お

みやげにキュウリもいただき、み

なさん満足そうに大荷物を抱えて

解散となりました。

斉藤農園・野菜狩りは、30年ほ

ど前から行っているそうです。始

めたきっかけは、ある

幼稚園の母様たちか

ら、子ども達に自然と

ふれあわせてあげたい

という要望があり、野

菜狩りを始めたところ

喜ばれたため、現在に

至っているそうです。

農園では20種類程の野

菜を丹精込めて作っ

ており、6月から7月初

旬まで子ども会、自治

会、幼稚園といった団体に野菜狩

りを楽しんで

もらっている

そうです。ま

た、まち探検

など、小学生

の学習の場と

しても利用さ

れ、地元には

欠かせない農

園です。



自治会だより

12月 「なかつはら」第47号発行

街かど医学塾(10日)

自治会館年末大掃除(17日)

クリスマスコンサート(18日)

日の出を見る会(23日)

1月 港北区駅伝大会(8日)

大人のスキーツアー(27、29日)

2月 自治会親睦バス旅行(26日)

3月 新旧役員交代懇親会(4日)

新班長・組長業務説明会(未定)

子供会だより

単独行事

1月 節分豆まき大会(29日)

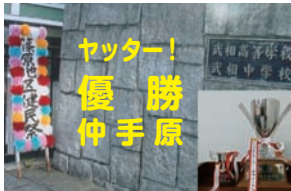
3月 親子スキー教室(5日)

卒業・進級祝い

8年ぶりに優勝！ 健民祭10・16

篠原地区連合行事として、10自治会8チームが武相学園グラウンドへ集合し、(仲手原自治会180名参加) 親睦と競技を行いました。

徒競走リレーは選手全員の大活躍により、平成19・20年大会で二連覇して以来8年ぶりに優勝の栄冠を勝ち得ました。



白幡小5年 宮元 優介

ぼくは、リレー選手として10番目に走りました。ぼくが走る時は1位でした。しかし、2位の人にぬかれてしまいました。だけどその後のチームの人がぬかしてくれて1位にもどりました。ぼくはくやしかったけどみんなで優勝できて良かったです。来年もリレー選手になり、また優勝したいです。



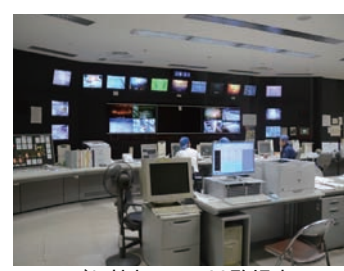
ライバルチームに競り勝ち見事に優勝

港北小6年 耳浦 千紘

今年の健民祭はとても盛り上がりました。私はリレーに出ました。昨年は2位でとてもくやしかったのですが、今年は仲手原が優勝することができました。これは、チームワークがとても良く、バトンパスもスムーズにすることができたからだと思います。優勝できてとてもうれしかったです。

3R夢施設見学会10・5

毎年恒例の環境研修は、CO2排出量の少ない天然ガス(LNG)を家庭や工場へ供給することで温暖化防止に大きく貢献している東京ガス(株)根岸工場と、家庭ごみなどを焼却処理する横浜市資源循環局で最新鋭の金沢工場と併設の「3R夢ひろば金沢」を43名が参加して見学しました。



ゴミ焼却の24H監視室

第8回男の仲手原食堂11・13

今回の男の食堂は29名参加し、ポイスカウト第8分団役員の指導を受けて、ダッチオーブンや飯ごうで「ご飯+豚バラ肉と生野菜を使ったアウトドア料理」を作りました。日常の生活基盤の電気・ガス・包丁など全く使わない野外での料理体験は、緊急事態への備えとして、まさに災害時の炊き出しの訓練にもなりました。



ひとり暮らし高齢者昼食会10・29

ひとり暮らしの方52名をお迎えして、自治会館で昼食会を開催しました。

自治会館利用の文化活動の紹介

3B体操で体力づくり・仲間づくり

3Bとは、ベル、ボール、ベルターの頭文字Bの3文字で3Bです。毎週火曜日9〜12時、仲手原自治会館にて3B体操の教室を開いています。

年齢に関係なく3Bを取り入れ、転倒予防、正しい姿勢、脳の活性化など、経験豊かな指導者のもと、笑顔で体を動かしています。高齢者には若い方が手を貸して、皆さん楽しく良い汗を流しています。



ベルを使い元気に体操

また、会員相互の信頼関係も良く築かれています。さあ一歩外へ出て見ませんか！興味のある方は見学自由です。お待ちしております。

編集スタッフ

- 伊東美奈子・植木幹造・江村清・押尾泰典・三宅博久・宮田純子・和田恵美子・編集責任者―中村泰雄